Vol.39　チャーチ・モードの各スケールを覚える　～その 1～

『10 分トレ』vol.39、始めていきましょう。

今回から、チャーチモードのスケール 7 種類を習得していきたいと思います。

近い事は他の教材でもやっていますが、改めて、と言う事で。

では、最初のスケールは、毎度おなじみの C アイオニアン(メジャー)スケールです。

代表手的なポジションはこの辺りですね。

図 1、C アイオニアンスケール、6 弦ルートポジション

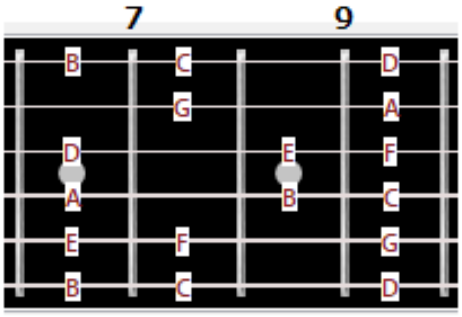
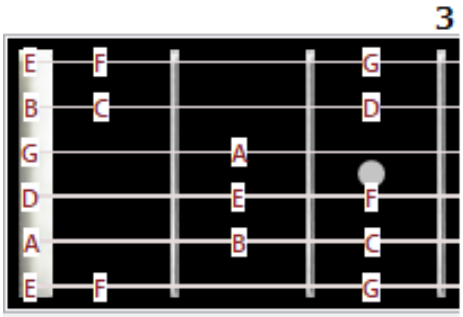


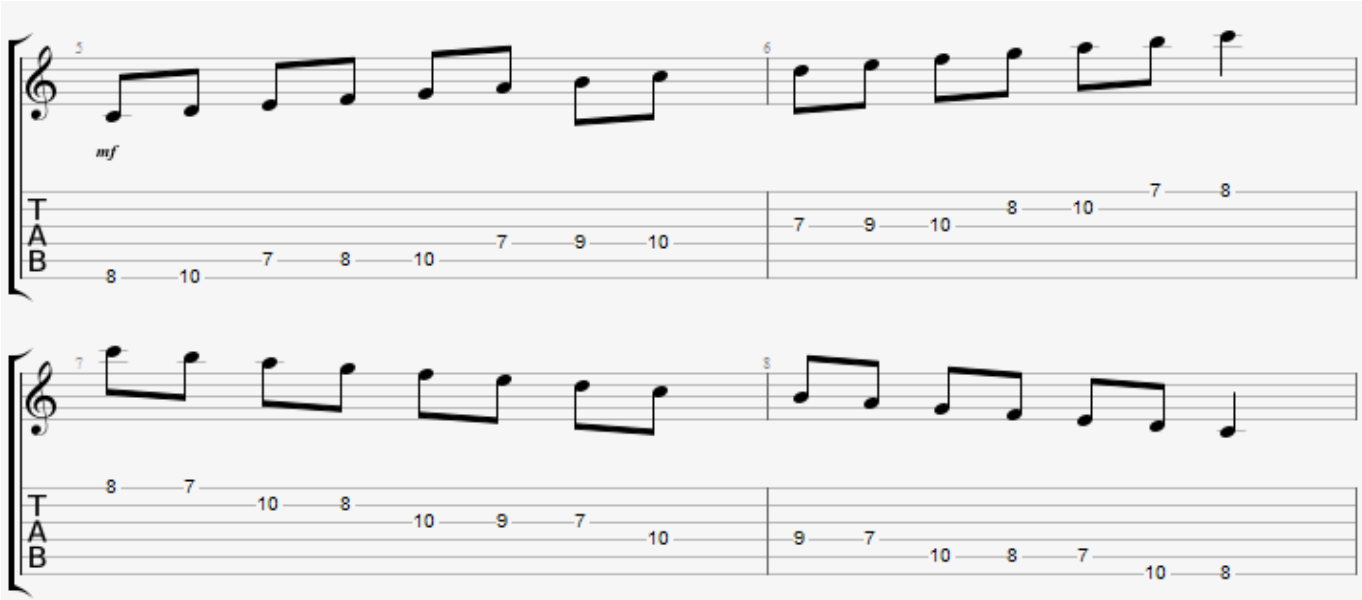
図 2、C アイオニアンスケール、5 弦ルートポジション



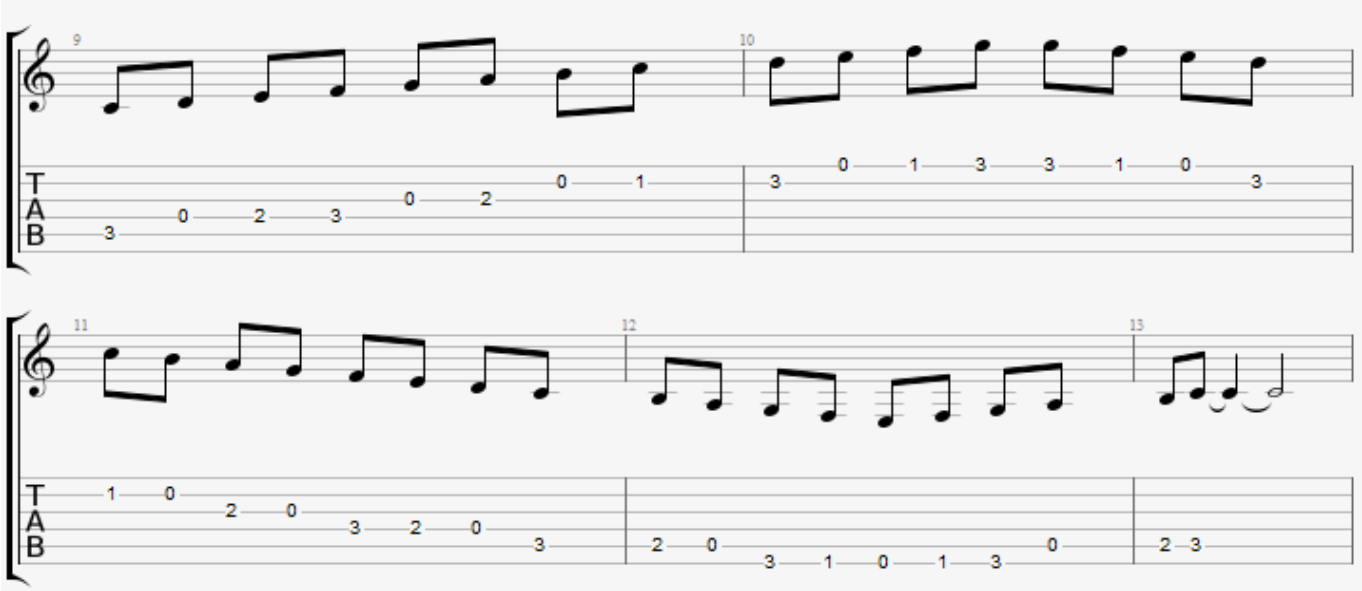
これらをストレートに弾くと以下の様な譜例になりますね。

譜例 1、C アイオニアンスケール、6 弦ルートポジション

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved



譜例 2、C アイオニアンスケール、5 弦ルートポジション



さて、これらの譜例は、ポジション内を上下しているだけですね。

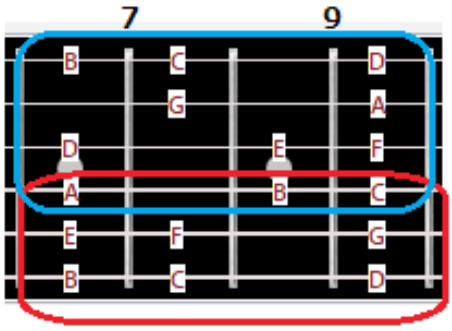
この様なスケール練習のパターンは無数に存在しますので、例えば【教科書】の vol.18.5 で紹介しているものも参考にしてみて下さい。

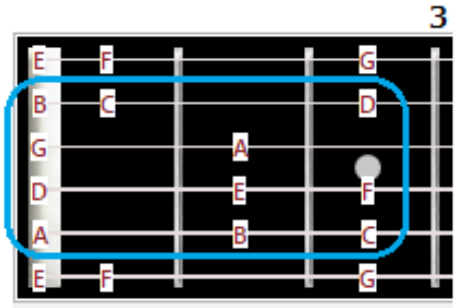
で、こう言ったポジションを覚える時に重要なのは、「インターバル的な観点」と「他のポジション(やスケール)との関連性」です。

例えば、図 1 のポジションは、前半は【10 分トレ】の vol.01 でやった様な 1 オクターブの範囲。

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved

後半は、実は5弦ルートのポジションと音の並びがほぼ同じですね。





この様に見ていくと、ただ2つのポジションを覚えていくよりも、見るものの総量が変わってきますね。

これは一例でしかありませんが、闇雲に暗記していくのとは効率が大きく変わってきますので、自分なりに研究していきましょう。

では、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved